



橋をかける人。

神戸学院大学 法学部
国際関係法学科 教授
谷口 弘行
TANIGUCHI HIROYUKI

「東アジア共同体構想」という言葉を聞いた事はありませんか？

EUと同じように、アジアの各国が経済的な面からも協調し、ひとつの大きな共同体として機能しようというものです。

神戸学院大学、法学部国際関係法学科の谷口教授が現在進めている研究も、この「東アジア共同体構想」の一端を担うもの。東アジア圏の各国からなる共同体の構築を目指し、主として専門である国家間の機構的問題という視点から、日々研究を続けています。

しかし、さまざまな思惑が絡み合う、政治という国家間の関係の中で、共同体構想の実現は前途明るいものではないということもまた事実。谷口教授はこ

うした状況の中で、「若い世代の文化交流」が、徐々にではあるものの明るい兆しを見せるのではないかと期待しています。例えば日本産のアニメーション。近年ではさまざまな作品の受賞歴からもそのグローバルスタンダードな活躍は見て取れますが、もつとローカルな部分で言えば、アジアだけでなくフランスなどのヨーロッパ圏でも、子どもたちが日常的に目にするアニメーションが日本製であったり、逆に日本人がロードショー当日に長い行列を作る話題の映画が中国や韓国のものであったり、という風景も今や日常茶飯事です。

こうした若い世代の文化的な交流。これこそが、経済や政治といった国家レベルでの交流よりも先に、東アジア共同体、ひいては世界規模の連帯感を生む土壌になるのでは。谷口教授はそう考えています。事実、韓国の例を取り挙げてみれば、日本文化流入の、国家レベルでの禁止政策にもかかわらず、個人レベルでは活発な交流が交わされていたという過去もあります。谷口教授のもうひとつの目標は、そうした交流を生み開かれた共同体をつくるための、いちばん最初「橋」を築くこと。そのために、諸外国からの留学生とも闊達な議論をぶつけあい、自らが架け橋となつて文化の交流に務めています。また、現在では教育者としての任の他にも、大多数の構成員がアジア諸国の若手で占め

られているAPPIISA(アジア国際政治学会)の理事や、新しい時代に求められる新しい学問を見極めるための文部科学省の大学設置審議会委員等を務め、若い世代の支援、また、老若男女を問わず、世代と世代をつなぐために奔走しています。

現在、法学部のある神戸学院大学有瀬キャンパスだけでなく、法科大学院が設置されている、神戸学院大学長田キャンパスでも精力的に教鞭を執っている谷口教授。現在、教壇でたくさんのお学生に熱弁を振るっている毎日ですが、2004年7月までは、神戸学院大学の学長を務めていました。

その業績には枚挙にいとまがありません。2004年の法科大学院をはじめとする学部・学科等の創設、地域と大学を結ぶ「総合的地域ケアシステム」の構想、そして、神戸学院大学ポートアイランドキャンパス用地取得と、2007年度キャンパス開校に向けてのプロジェクト。

これらの取り組みも、大学と地域を、都市と大学を、ひいては人と教育とをつなぐための、「橋」の数々です。そして学長の任を退いた今、谷口教授は「より人に近い」ところで橋をかけることを目標としています。



神戸学院大学

URL <http://www.kobegakuin.ac.jp>

有瀬キャンパス / 法学部・経済学部・経営学部・人文学部・栄養学部・薬学部・総合リハビリテーション学部(2005年4月開設)
法学研究科・経済学研究科・人間文化学研究科・栄養学研究科・薬学研究科・食品薬品総合科学研究科
〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518 TEL.078-974-1551(代表) FAX.078-974-5689

長田キャンパス / 実務法学研究科(法科大学院)
〒653-0862 神戸市長田区西山町2-3-3 TEL.078-691-4888(代表) FAX.078-691-4333

ポートアイランドキャンパス(2007年4月開校予定)

からだに
こころに
まことに
社会に
リハビリテーションを。

2005年4月
開設

総合リハビリテーション学部

医療リハビリテーション学科

・理学療法専攻 (理学療法士国家試験受験資格取得) ・作業療法専攻 (作業療法士国家試験受験資格取得)

社会リハビリテーション学科

(社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得)(予定)